

## V 点検評価員の意見について

令和4年度分の教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に当たって、客観性を確保するため、学識経験を有する方から意見を頂きました。

### 1 利根町教育委員会事務点検評価員（学識経験者）（50音順 敬称略）

氏名	備考
川村 啓三	・元白井市立桜台中学校長 ・元利根中学校講師
久保田 敏弘	・元利根町役場職員（生涯学習課課長補佐）

### 2 意見聴取日等

- (1) 第1回 令和5年11月7日（火） 場所 利根町役場4階A会議室  
(2) 第2回 令和5年11月17日（金） 場所 利根町役場4階A会議室

### 3 主な意見

#### (1) 全体に関する意見

- コロナ禍にあっても、これに対する適切な対応方法が整備され、町民も十分慣れ、徐々に各事業が順調に動き出している。無事に、安全・安心に1年間を終えられたことに感謝申し上げる。
- 各課とも、基本計画に掲げられた施策の実施に向けた取り組みの中で、それぞれ必要な事業を実施している。先行き不透明な時代であるゆえに、さらにより多くの情報や町民の声を収集し検討を重ね、事業のより一層の充実・向上に努めてもらいたい。
- 利根小学校が5年度に開校したことについて、町教育委員会のこれまでのご尽力・ご苦勞は評価できる。将来的なことになるが、今後の児童生徒数の動向を踏まえながら、義務教育学校への移行も検討されていくとになると考える。当面は、各校それぞれの教育の充実と連携が求められる。町教育委員会のより一層のご支援を願いたい。
- 今後とも教育委員会会議の活性化と質の充実に努めていただきたい。事務局はわかりやすい説明を心掛け、教育委員の声をさらに引き出すよう工夫に努めていただきたい。

事務局からの提案・報告だけで終わらせるのではなく、委員の方々のそれぞれの視点から、新たな政策（事業）を意見・提案してもらうなど、事務局の方からも話題の提供に努めていただきたい。

- 社会の変化が激しい時代にあつて、各事業の現状維持は必然的に後退となる。これが、全事業に対する基本的な心構えとして必要である。今後の方向性が現状維持と評価している事業についても、何か改善できないか検討することを怠らないでほしい。
- 「まちづくりは、人づくりから」と言われるように、教育をまちづくりの基盤と考える「教育のまち利根」の実現に向け、共に取り組みたい。

## (2) 各施策に関する意見

### 【基本方針3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり

#### 【基本施策2】特色ある学校教育の推進

##### 【4】安全・安心で豊かな教育環境づくり

- 小学校統合事業が無事に終了し、これからは利根小学校としての真価を発揮する時である。今後の取り組みに期待したい。  
町内1小1中体制を生かした連携を進め、最大限の効果を引き出せるよう期待したい。(学)
- 学校給食の無償化を検討されているとのこと。ぜひ継続して本格的に実施願いたい。給食の献立は、児童生徒の楽しみの一つである。保護者や児童生徒の声、他市町村状況の情報交換などの、献立の工夫に努めていただきたい。また、食材の地産地消を進め、安定した供給が得られるよう今後とも努めていただきたい。食中毒にも十分ご留意願いたい。(学)

##### 【5】義務教育の充実

- 町単独で、各校への複数の非常勤講師等の配置されたことについて評価する。今後も学校等の要望・実態を踏まえて検討されたい。(指)
- 学校図書館の図書の実をさらに進めていただきたい。また、学校図書館司書にも授業に参加してもらい、読書の喜び、図書の選び方、新刊書の紹介などをお願いしたい。(学・指)
- 教職員の健康管理に取り組まれている。今後とも検査後の医療機関へときちんと繋げていただきたい。町教育委員会は学校と共に現状を踏まえ、働き方改革をさらに推進していただきたい。学校職員の元気が出ないと期待される成果は現れない。(学)
- GIGA スクール構想によるタブレットパソコンの整備事業が終了となったが、ICT の環境整備が進み、これを有効に活用できる教師もここ数年の間に徐々に増えつつあり、成果も高まっているように思われる。  
しかしながら、教師が機器に目を向けることで、児童生徒の表情・行動に目が行き届かなくなる恐れがある。医者が「患者を見ずにパソ

コン画面を見て診療をする」と揶揄されているが、そんな指導に落ちたくないように留意していただきたい。(指)

- **算数・数学の学力向上に向け一層の努力が必要**とのことで、非常勤講師を配置された点については評価できる。複数の教師による T・T 指導は、共に主たる指導者であり、共に力を合わせて指導にあたることを自覚することが大切。一方が補助的な役割といった主従の考え方や対応ではなく、 $1 + 1 > 2$  となる指導のあり方の工夫・改善を期待したい。(指)
- 学習内容に係る優れた知識や技能をもつ地域の適切な人材の発掘を進め、外部講師としての活用をさらに進めていただきたい。(指)
- 教育相談員・ソーシャルワーカーを配置した点は評価できる。今後とも学校及び関係諸機関ときめ細かな連携をとり、さらに着実な成果を期待したい。(指)
- 部活動の地域移行に向けて、各指導者に対して、町単独あるいは市町村共催等で適切な指導法について啓発する研修会を設けていただきたい。絶対に体罰・パワハラなどがあってはならない。科学的な指導法が求められている。(指)
- 特別に支援を要するような児童生徒の対応については、なかなか良い方向に進展が見られない場合は、多くのケースを扱っている県教委の専門研究員の活用を進めていただきたい。特別支援教育研修会は特別支援学校教諭だけではなく、専門の研究員を是非活用していただきたい。(指)
- 教職員の資質向上に向け、先輩教職経験者である学校運営指導員の皆さんの効果的な活用を促進していただきたい。(指)
- 適応指導教室設置事業において、いじめの問題や学校への不適応などの様々な事情で不登校になった児童、生徒一人一人に寄り添った取り組みをしており評価したい。出来れば不登校になる前に相談を受けて悩みなどの問題を取り除けるのであれば良い。担任の先生が余裕を持って相談に時間をさけるような体制が整えられるよう期待したい。

## 【6】児童生徒の安全対策の充実

- 通学路安全プログラム事業や小学校児童通学用バス運行事業に関わることで、バス通学の児童も多く、安全性を考えてバス停留所付近では十分すぎるくらい安全の確保を心掛けてほしい、バスの運転手だけではなく、児童にも安全教育を徹底して、事故などが起きないように事業を進めてほしい。(学)
- ヘルメットが配布され、多くの生徒がしっかり着用し良好である。

一方で、児童生徒が加害者となって自転車事故を起こし、多額の賠償請求が発生する事案が見られる。注意の励行、スピードの出し過ぎなど、安全な乗り方や自転車の点検などの指導も定期的に行っていたきたい。(学・指)

- 毎年、全国で1,000人を超える行方不明の子どもがいると言われている。多くは無事に帰宅出来ているようだが、引き続き見守り活動を継続していただきたい。(学)

#### 【7】学校・家庭・地域の連携・協力の推進

- 「小学生による見守りお願い」のアナウンスは地域の皆さんに好評である。(学)

#### 【基本施策3】学びやすい生涯学習環境の整備

##### 【8】地域の特性を活かした生涯学習事業の推進

- 教育の基本は、家庭教育にある。家庭教育セミナーは、保護者にとって参加してよかったと思えるような、おみやげをもって帰れるような研修にしていきたい。

一方で、保護者の多くが職業に就かれている状況なので、多数の参加を求めるのは難しいのではないかとと思われるため、これを踏まえて、参加者が少数でも、回数を重ねることで啓発を進めること、また、特別に有名な方でなくとも、中身が充実したものであれば良いと考える。

さらに、講話の内容をコンパクトにまとめたものを関係する保護者に配布するような仕組みがあるとよい。タイムリーに「家庭教育ワンポイント」をリーフレットのような形でまとめて、保護者に配布する。学校のホームページに載せるなどの方法も考えられる。(生)

- 成人式について、成人式実行委員会が内容の一部を自分たちで検討をする部分があってもよいのではないかと考える。(生)
- 学校が、地域の教育力を生かしていくために、地域のいろいろな資格や技能などをお持ちの方のさらなる発掘と活用を町教育委員会及び町にお願いしたい。人材は人財である。(生)
- 英語教室事業の取組として、長期休業期間などに家庭英会話週間のような期間を設けるなどして、簡単な日常の英会話を実施するよう家庭に協力を求めているかどうか。また、簡単な英会話の内容をまとめたパンフレットの配布や、商店などでの英語表記などを進めるなどの工夫があるとよいのではないかと考える(生)
- 子ども体験事業の推進について、学校では体験できない事業であり、5つの教室で終わるのではなく、今後の方向性としてぜひ拡大していただきたい。

- こども自然体験交流事業について、婦恋村での交流や天体観測など、継続的に実施してもらいたい。この事業も現状維持ではなく現地気候のことや特産物・歴史・地形などを事前に調べたりする学習を入れるなど、良い方向に改善してほしい。

#### 【9】生涯学習環境の整備充実

- 小さな子どもたちに絵本や本が配布されると、読書に興味・関心をもってもらえるきっかけとなるのではないかと考える。(生)
- 幼少期の読み聞かせは大変大事で、大変有効な手法であると考え。読書に親しむ子供たちが増えることが期待できるため、今後とも継続して貰いたい。(生)
- 図書館図書のさらなる充実とより多くの町民に活用してもらえるよう、さらに啓発・工夫が必要と考える。(生)

### 【基本施策4】参加しやすい文化・スポーツ環境の整備

#### 【10】文化活動の振興

- 優れた歌声や楽器の生演奏を身近な場所で楽しみ感動を得ることは、人生に潤いをもたらす素晴らしい事業で、継続してもらいたい。  
また、文化センターとなったことから、年1回のみコンサートの開催に限らず、複数回実施することを期待したい。(生)

#### 【11】まちの文化遺産の保全

- 国内・町の歴史を明らかにしていくため、これまでの資料をきちんと保存・整理し、広報などでも取り上げていただいている。町の歴史紹介・歴史講座・歴史散策など、継続して実施していただきたい。歴史ボランティアの育成についても、小中高学生の希望者にも広げるなど、検討して継続していただきたい。(生)

#### 【12】生涯スポーツの推進

- 今後、さらに新たなアイデアで町民が楽しめる町民運動会を盛り上げ、種目内容の工夫もなされていくことを期待したい。(生)
- 地域のスポーツ振興のため、今後も各スポーツクラブ等、地域の指導者・協力者の発掘をお願いしたい。(生)

### 【基本方針5】みんなが主役でともに進むまちづくり

#### 【基本施策2】誰もが尊重される環境の整備

#### 【5】人権尊重の充実

- 大人の何気ない不適切または差別的な言動が、子どもたちの心をむしばんでいることに気づかなくてはならない。いじめ問題の根本的な解決は、われわれ大人自身のこの問題の解決にあり、大人に対するさ

らなる啓発が必要である。学校では、いじめは人権侵害にあたり、いじめ問題をなくしていくためにも、人権教育のさらなる充実が求められる。(学・指)

※改善を望む意見は●で表記しています。

(学) 学校教育課, (指) 指導課, (生) 生涯学習課